

平成 22 年 6 月 5 日

「北海道体育学会研究助成事業」募集の一時停止について

北海道体育学会理事長

志手 典之

平成 16 年度から始まった研究助成事業は、故・鈴木敏夫先生（当時会長）の肝いりで、研究条件に恵まれない若手研究者の育成を目的とするとともに、基金の有効活用策として提案されました。当初、中学校・高等学校の現職の先生方から多くの応募があり、本事業が若手研究者育成に大きな役割を果たしておりました。しかしながら、ここ数年、現職の先生方からの応募が減少するとともに、大学院生を含めた応募者自体も激減しております。

昨年度より役員会としましては、研究助成事業に一度区切りを付け、新たな方策による若手研究者育成の模索を検討して参りました。そして、本年度、「若手研究者賞」を創設することで若手研究者育成の一助を担えると考えました。つきましては、研究助成事業の募集を一時停止とすることを御提案します。

なお、「若手研究者賞」による若手研究者育成の状況を見据えながら、本事業の一時停止解除の方向性も検討することを申し添えます。